

1. 科目名（単位数）	肢体不自由教育総論（2単位）	3. 科目番号	SSMP2454
2. 授業担当教員	八重樫 幸雄		SNMP2454
4. 授業形態	講義・演習・ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	近年、肢体不自由特別支援学校では重複障害や合併症を伴う児童・生徒が増える一方、知的障害を主たる対象とする特別支援学校や視覚障害や聴覚障害を専門とする特別支援学校、病弱特別支援学校においても、肢体不自由を合併する児童生徒が増えている。また、医療的ケアを必要とする重症心身障害児が学校に通ってくるケースも増加するなど、肢体不自由教育の教育課程編成はより一層複雑かつ創意工夫が必要になっている。さらに、インクルーシブ教育の理念の広がりにより、地域の小中学校に肢体不自由のある子どもが入学するケースも増加するなど、その必要性は、様々な場所に広がっている。 このような現状をふまえながら、家庭・地域ならびに医療や福祉の関係機関と連携した教育的支援のあり方について、実地的な講義を進めていきたい。		
8. 学習目標	1. 肢体不自由教育についての概要を理解し、基礎から発展的に説明できるようになる。 2. 肢体不自由教育の現状と課題について理解し、基礎から発展的に説明できるようになる。 3. 肢体不自由教育の場、教育課程についての知識を、基礎から発展的に身に付ける。 4. 日常生活における家族や医療機関等との連携の実感がわかる。		
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	・アサイメント 事前学習、事後学習で取り組んだ内容を毎回のアサイメントシートに記述する。 ・レポート課題 肢体不自由教育における「医療的ケア」について、あなたの考えを述べなさい。（1200字）		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 川間 健之介・西川 公司編著『肢体不自由児の教育〔新訂〕』放送大学教育振興会、2020。 【参考書】 篠田達明監修『肢体不自由児の医療・療育・教育 改訂3版』金芳堂、2015。 ＊必要に応じてプリント資料を配付する。		
11. 成績評価の規準と評価の方法	○成績評価の規準 1. 肢体不自由教育についての概要を理解し、基礎から発展的に説明できたか。 2. 肢体不自由教育の現状と課題について理解し、基礎から発展的に説明できたか。 3. 肢体不自由教育の場、教育課程についての知識が、基礎から発展的に身についたか。 4. 日常生活における家族や医療機関との連携の実感がイメージできたか。 5. 主体的な発言・取組をし、協調性を発揮して授業に参加できたか。 ○評価の方法 以下を総合的に検討し、判断する。 1 授業への積極的参加 総合点の50％ 2 レポート 総合点の20％ 3 期末試験 総合点の30％ ＊なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。		
12. 受講生へのメッセージ	1. 積極的に意欲的な授業への参加を期待する。そのために、各回のアサイメント(予習、復習)で出された課題は必ずアサイメントシートにまとめて授業に臨むこと。 2. 授業中は真剣に取り組み、特に主体的な発言やグループワークへの貢献に努める。 3. レジメやアサイメントシートや配布資料等は各自整理整頓に努め、学習内容の大切な資料として活用すること。		
13. オフィスアワー	第1回の時に知らせる。 連絡先 yuyaegas@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 肢体不自由教育の歴史と現状と課題について	事前学習	教科書「第1章 肢体不自由教育の基礎的理解を読み「肢体不自由」の概念等についてアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	肢体不自由児教育の歴史と現状について分かったことをアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第2回	肢体不自由児が学ぶ場について—特別支援学校を中心に—	事前学習	肢体不自由特別支援学校についてアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	肢体不自由児の教育支援システムについて分かったことをアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第3回	肢体不自由児者の生活・家族生活—生活の質を高める福祉制度—障害のある外部講師を招いて	事前学習	肢体不自由児や家族への支援の福祉制度や支援の場について外部講師に質問できるようにアサイメントシートにまとめておく。
		事後学習	福祉制度における学校外の支援の場に関し再力試しし、その種類や福祉制度等について分かったことをアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第4回	肢体不自由児の生理・病理1	事前学習	教科書「3 肢体不自由児の生理・病理1」を読み、運動発

	—運動発達の仕組み—		達のしくみについてアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	筋肉・骨の働きとしくみについて分かったことをアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第5回	肢体不自由児の生理・病理2 —脳性まひ・二分脊椎を中心に—	事前学習	教科書「4 肢体不自由児の生理・病理2」を読み、脳性まひと二分脊椎についてアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	脳性まひと二分脊椎について分かったことをアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第6回	肢体不自由児の心理1 —発達を中心に—	事前学習	教科書「5 肢体不自由児の心理1」を読み、認知・思考の発達についてアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	肢体不自由児の認知・思考の発達についてアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第7回	肢体不自由児の心理2 —障害特性を中心に—	事前学習	教科書「6 肢体不自由児の心理2」を読み、視知覚や行動特性についてアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	知覚や行動特性についてアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第8回	肢体不自由教育の教育課程 —教育課程編成の基本—	事前学習	教科書「7 肢体不自由教育の教育課程」を読み、教育課程の編成についてアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	肢体不自由教育の教育課程についてアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第9回	肢体不自由教育の実際1 —自立活動の指導Ⅰ— (6区分中、1から3区分まで)	事前学習	教科書「8 肢体不自由教育の実際1」を読み、自立活動の概要についてアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	自立活動の概要についてアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第10回	肢体不自由教育の実際2 —自立活動の指導Ⅱ— (6区分中、4から6区分まで)	事前学習	教科書「9 肢体不自由教育の実際2」を読み、自立活動の指導における「身体の動き」についてアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	ポジショニングについてアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第11回	肢体不自由教育の実際3 —重度・重複障害児の理解—	事前学習	教科書「12 肢体不自由教育の実際5」を読み、重度・重複障害児についてアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	医療的ケアについてアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第12回	肢体不自由教育の実際4 —重度・重複障害児の指導—	事前学習	教科書「13 肢体不自由教育の実際6」を読み、重度・重複障害児の指導の概要についてアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	個別の指導計画の作成と指導の評価についてアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第13回	肢体不自由教育の実際5 —キャリア教育と進路指導—	事前学習	教科書「14 肢体不自由教育の実際7」を読み、肢体不自由児のキャリア教育と進路指導についてアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	「個別的教育支援計画」についてアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第14回	肢体不自由児教育の今後の課題 —現状の課題から未来を考える—	事前学習	教科書「15 新たな取組と今後の課題」を読み、分かったことをアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	肢体不自由教育の課題についてアサイメントシートにまとめ、力試しテストの準備をする。
第15回	まとめ	事前学習	講義全体の流れを再力試しし、レジメを振り返り、新たな気づきや感想等についてアサイメントシートにまとめ、説明できるようにしておく。
		事後学習	課題レポートを指定された日までに文書で提出できるようにする。